
NEWS RELEASE

デジタルガレージ、米 Twitter 社に 5 回目の出資 事業支援と普及促進を通じた日本市場の拡大に向け体制を強化

株式会社デジタルガレージ(JASDAQ 4819、本社:東京都渋谷区、代表取締役/グループ CEO:林 郁、以下:DG)は、全額出資子会社で投資・育成事業を手がける株式会社 DG インキュベーション(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:南一哉、以下:DGI)を通じ、ミニブログ・サービス「Twitter」を運営する米 Twitter 社(米国サンフランシスコ、CEO:エバン・ウィリアムス)に追加出資しました。DGI による Twitter 社への出資は、2008年1月と同年6月、2009年3月、2010年1月に続き5回目になります。

Twitter は過去3年間に渡って年率1500%の割合で、世界規模で成長を続けています。Twitter社によると2010年4月時点で全世界からTwitterサイトを訪問するユニークユーザー数は約1億8000万人に到達し、このうち1億人以上がTwitterの登録ユーザーでした。全世界における1日当たりの投稿数は5500万件、1日当たりの検索件数は6億件に達します。

今回の追加出資を契機にDGは、日本におけるTwitter市場の拡大に向けた支援体制をより一層強化します。具体的には、社内組織である「Twitterカンパニー」を中心とし、Twitter日本語版および日本の携帯電話に向けたTwitterの公式サイト(<http://twtr.jp>)の運営支援や、携帯電話事業者を含む戦略パートナーとの協業などによってTwitter社に引き続き協力するほか、サードパーティとしてTwitter関連サービスを提供することを通じた新たなユーザー層の獲得などによって、日本におけるTwitterの普及を引き続き推進していきます。

「Twitter」について

Twitterは、「What's Happening?」(いまどうしてる?)というシンプルな問いかけに140文字以内で答えることによって、さまざまなユーザー同士がつながるコミュニケーション・ツールです。投稿したメッセージは、自分を「フォロー」しているユーザーにリアルタイムで届きます。日常的ななにげないやりとりから、企業によるプロモーションへの活用に至るまで、Twitterの使い方はさまざまです。メッセージのやりとりには、Web サイトだけでなく、パソコンで動く各種の専用のクライアント・ソフトウェアや携帯電話を使えるなど、コミュニケーション・ツールとして自由度が高いという特徴があります。